

多職種及び地域連携に関する講義②

(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み

1

本講義のねらい

- 自立支援協議会の意義、目的、活動内容等について理解する。
- サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者(サビ児管)の業務を通して見いだされる地域課題を解決するための自立支援協議会の活用について実践報告等により学ぶ



2

サビ児管が所属する

**障害者支援施設
障害福祉サービス事業所
障害児入所施設
障害児通所支援事業所**

**民生委員
社会福祉協議会
学校**



**地域の
社会資源**

目指すところは地域共生社会

3

3

**障害があってもなくても、住みなれた地域で
安心して暮らせるまちづくりを目指しましょう！**

**そのために
各市町村で取り組んでいること**

地域生活支援拠点

4

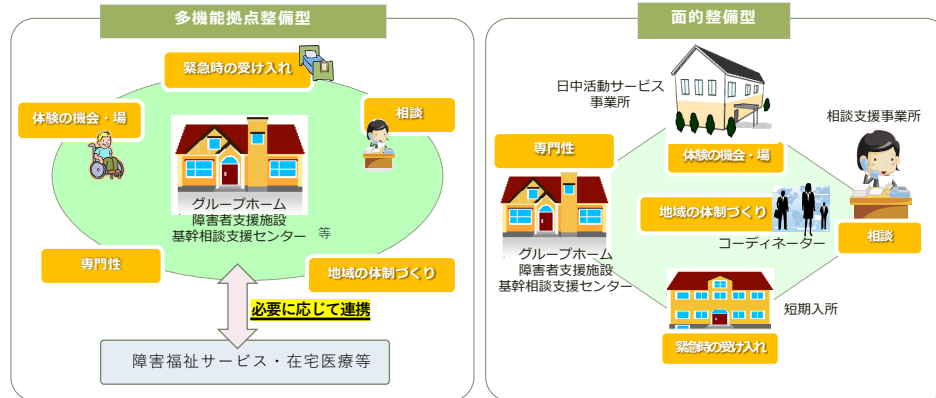
4

地域生活支援拠点等の整備について

障害者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築。

●地域生活支援拠点等の整備手法（イメージ）※あくまで参考例であり、これにとらわれず地域の実情に応じた整備を行うものとする。

各地域のニーズ、既存のサービスの整備状況など各地域の個別の状況に応じ、協議会等を活用して検討。



5

5

地域生活支援拠点とは・・・

地域の障害者、障害児、その家族が安心して、地域での生活を継続できるように支えるための仕組み



重度者が引っ越したり、他市の事業所を使わざるを得ない現状を打破！！

6

6

必要な機能等

拠点等の機能強化を図るため、5つの機能を集約し、**G Hや障害者支援施設等に付加した「多機能拠点整備型」**、また、**地域における複数の機関が分担して機能を担う体制の「面的整備型」**等、地域の実情に応じた整備を行う。（例：「多機能拠点整備型」+「面的整備型」）

- ①相談 ②緊急時の受け入れ・対応
③体験の機会・場 ④専門的人材の確保・養成 ⑤地域の体制づくり

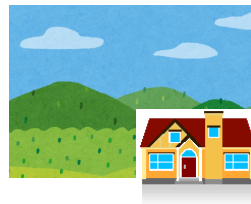
※ 地域の実情を踏まえ、必要な機能やその機能の内容の充足の程度については、市町村が判断する。

そもそも、何故「地域生活支援拠点」が必要なのか？

24時間365日、安心できる場所で暮らしたい → 施設入所

- ・重度障害のある人
- ・行動障害のある人
- ・突発的な対応が必要な方

選択肢は、施設入所しかないのか？
地域で暮らし続けるためには何が必要なのか？
→…5つの機能が必要



7

地域の事業所のポジションは？

市が多機能拠点整備型の施設を建てたから、
うちの事業所は関係ないよね(^_^♪
重度の方は大変そうだから拠点さんお願いしますね～！



本当にその対応で大丈夫でしょうか？

多機能拠点型であっても、地域の社会資源である障害福祉サービス事業所等は必要に応じて連携することとなっています。

8

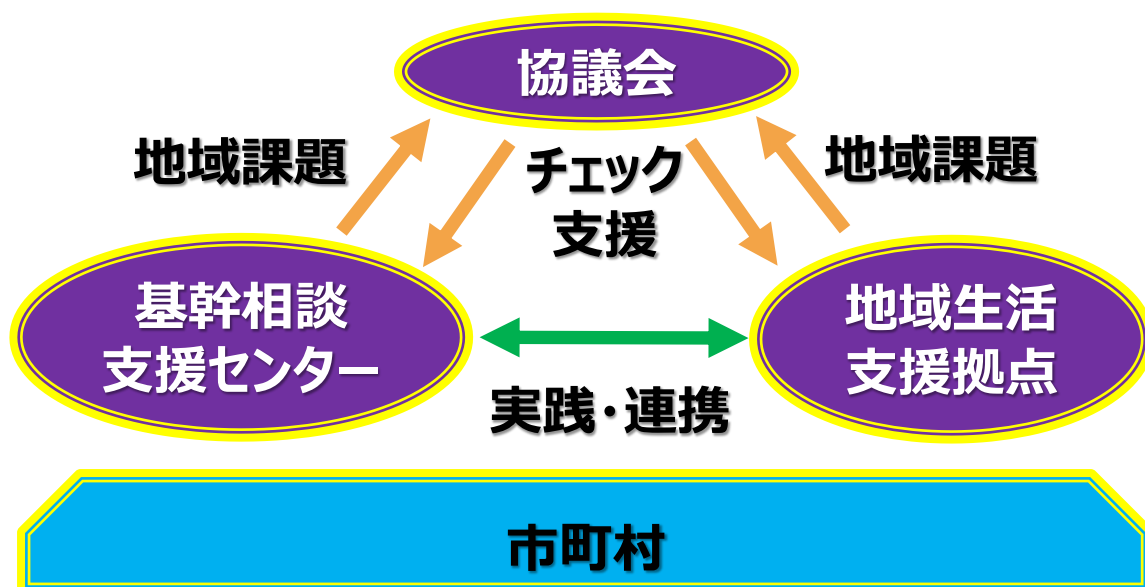
なので、実際には
多機能拠点型であっても、地域の障害福祉サービス事業所等と面的につながっているのです。
つまり、必然的に
「多機能拠点＋面的整備型」となるのではないのでしょうか？

面的整備型であっても、緊急時の受け入れを行う短期入所事業を持っている事業所等を中心に、面的整備を行うはずで
「中核的な事業所＋他の事業所」となり、

いずれにしても、地域内の事業所が
「地域の障害者、障害児、その家族が安心して、
地域での生活を継続できるように支えるための
仕組み」を一緒につくっていくことが重要となると
思います。



協議会・基幹・拠点の関係



協議会と事業所の関係

協議会の構成員は、市町村によっても異なるが

- ・有識者
- ・当事者団体
- ・事業所（相談系、児童系、介護系、就労系等）
- ・社協
- ・教育関係
- ・基幹相談支援センター（事務局側の場合もあり）
等

11

11

協議会では、地域課題を明らかにし、対応について協議する。

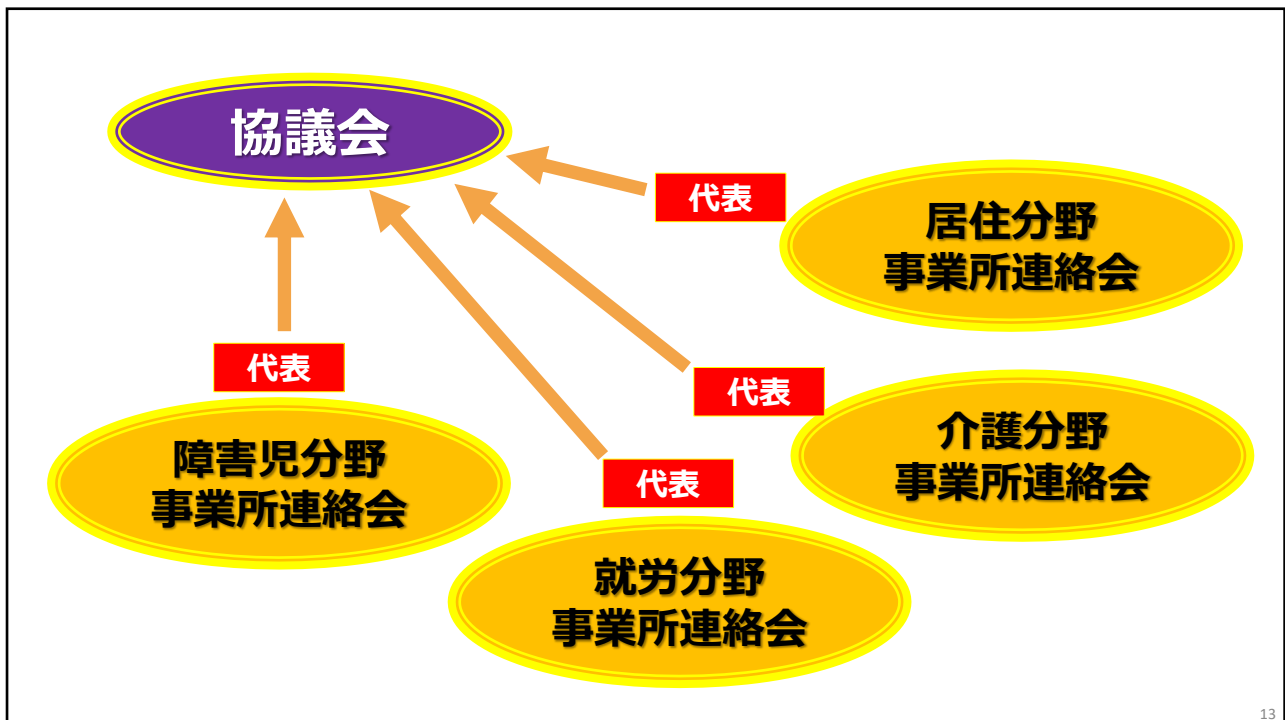
各分野の事業所が協議会に参加する際は、
本来は各地域・各事業の事業所連絡会等を組織し、意見の集約や協議
会での検討課題を持ち帰る等の対応が必要だが・・・

主に対象としている利用者の障害種別や障害程度等の違いにより、同種
事業であっても、意見がまとまらない等の事情がある。

しかし、皆さん方は地域の社会資源そのものです。
地域の障害児者のためにまとまっていたきたい。
最初の組織作りは、行政のお力添えもお願いしたい。

12

12



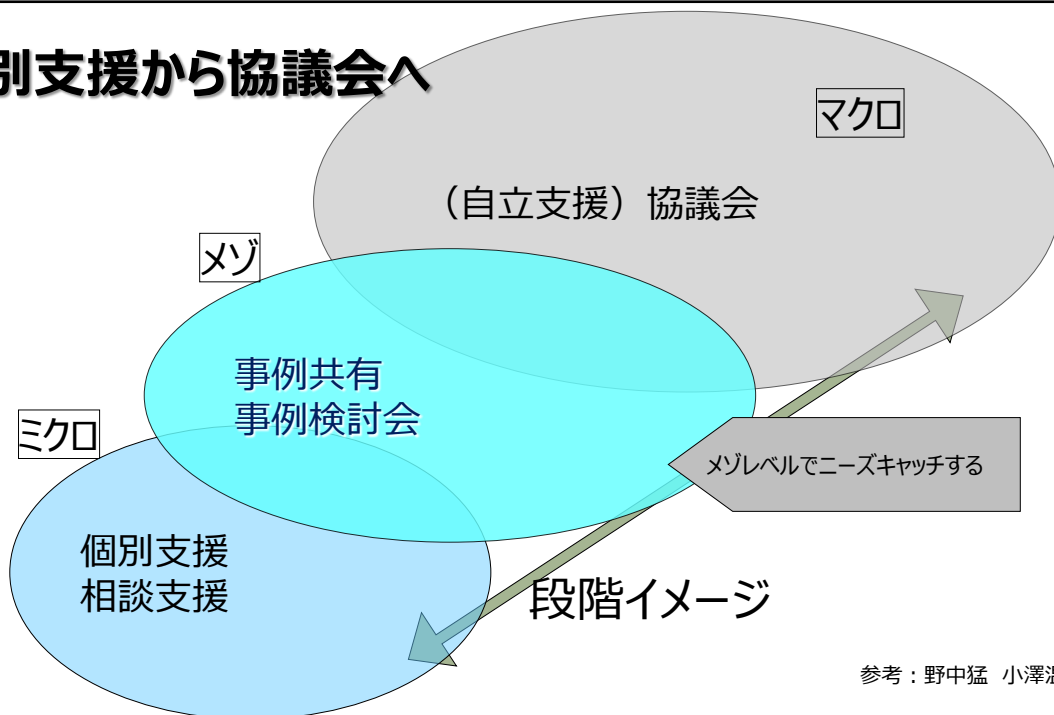
協議会本会への参加は、事業所の管理者レベルが多く、サビ児管が直接参加する機会はないのではないかと？

参加した管理者は、事業所連絡会等を通じて、他の事業所との情報共有はもちろん、事業所内のサビ児管へ伝達していただきたい。
参加する管理者は、他事業所、サビ児管の意見も汲み上げて協議会に臨むべき。(間接的な参加)

本会ではなく、作業部会等の下部組織への参加はぜひサビ児管が直接参加する機会を。

協議会への関わりを、直接・間接に意識して、地域における福祉の一翼を担っていただきたい。

個別支援から協議会へ



15

15

困難事例は基幹と拠点に集まる



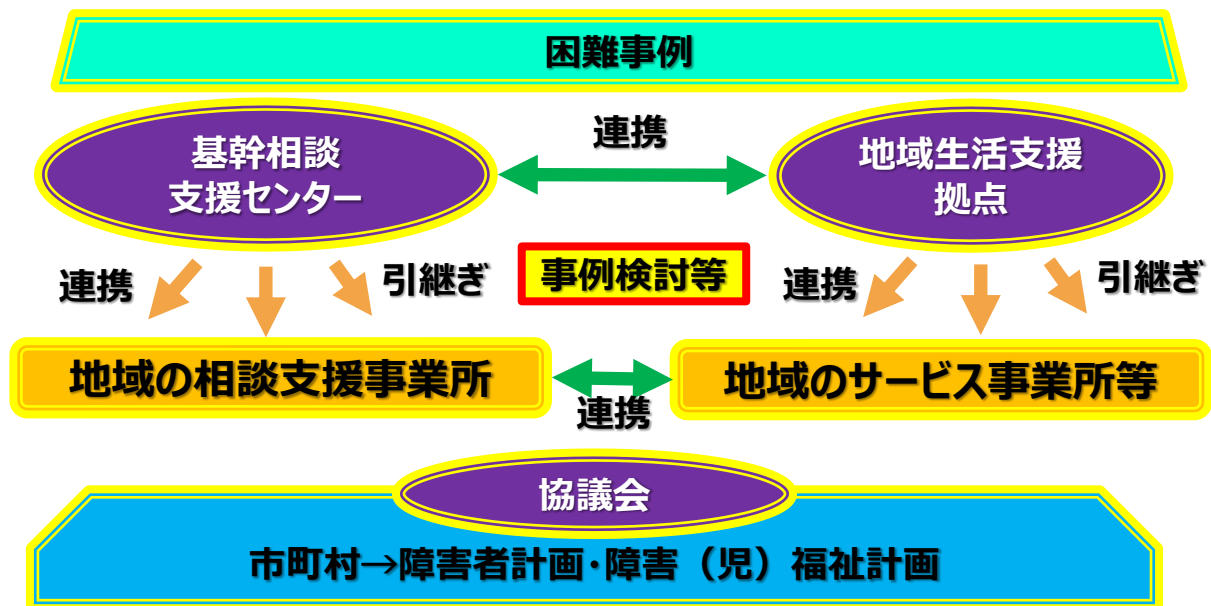
困難事例こそ連携が必要

「おまかせ」ではなく、自事業所でできることはないか？
支援力を高めるチャンスととらえる！

16

16

協議会・基幹・拠点・事業所の関係



17

17

事例

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

C県N市の自立支援協議会の事例

【協議会の目的】

市内における障がい者等への支援体制に関する情報の共有化や、関係機関等の連携の緊密化、地域の実情に応じた支援体制の整備を図るための協議を行うこと

【協議会構成】

委員数は34名で各委員が以下の部会いずれかに所属

協議会の部会構成は

- ①相談支援部会
- ②児童部会
- ③就労支援部会
- ④地域生活支援部会
- ⑤社会資源開発改善部会

活動内容は

- ・年3回全体会
- ・各部会は基本毎月開催
- ・会長及び各部会長による運営会議を毎月開催

18

【事例概要】

就労部会の活動の一つである、地域の就労支援事業所を集めての意見交換会を年1回開催。

昨年度末の意見交換会にて「地元で働きたいとの希望があるが、就労先の開拓が難しい」「地元での体験実習の場が少ない」との地域課題が挙がる。

N市は小さい市であり、企業の大半が中小企業でもあることから、障がい者雇用や障がい者の実習の受け入れに関して促進し難い背景があった。



そこで、改めて部会で検証し、「職場体験実習」の機会を地域で増やしていく事が障がい(者)の啓発や先々の雇用促進につながると考え、本年度の部会計画において、行政や委員でもある商工会議所の協力を得て、6月の商工会議所での総会(市内事業所の所長クラスが100名程集まる)にて協議会から直接職場体験実習についての説明と依頼の時間を頂くこととなる。

また、並行して商工会議所加盟の市内約2,000社に対しても障がい者にとっての「職場体験実習の意味や必要性」、「受け入れのお願い」について啓発チラシを作成し発送予定とする。

部会で
地域課題の
発見・集約



協議会に挙げ、協
議会から商工会議
所への説明会



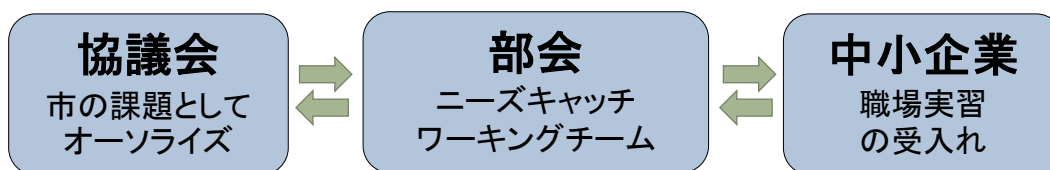
啓発チラシの発送
等の具体的な行動
へつなげる

事例

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

一方で、地元地域での障がい者職場体験実習の受け入れの活性化を視野にいれ、実習生を送り込む各福祉サービス事業所側においても、中小企業における障がい者受け入れについての「困難性」をきちんと理解することや、職場実習に向けての準備や支援者の心がけ等を学び、再確認することを目的に、市内事業所の支援者を対象とする研修会も計画、準備中。

中小企業へのお願いばかりではなく、就労系サービス事業所側も準備態勢を整える行動へつなげていく。…協議会の部会の活動として

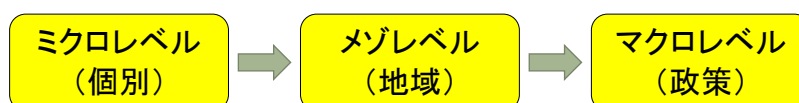


21

事例から見えること

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

- ・利用者から「地元で働きたい」との希望がある
ミクロレベルでの利用者ニーズに気づき、かなえてあげたい
- ・中小企業が多く「就労先の開拓が難しい」「地元での体験実習の場が少ない」
社会的な阻害因子…地域課題の発見(メゾレベル)
- ・行政や商工会議所の協力を得て、職場実習の場を増やすところから取り組む
- ・今後、(例えば)職場実習を継続的に受けてくれた企業に、感謝状を出す、補助金を出すなどの施策に展開(マクロレベル)



22

演習ワークシートの見方

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

- 多職種及び地域連携に関する演習ワークシートが事前課題として出されていると思います。
- ワークシートを記載するにあたって、どのような見方をしていけばよいのか一緒に考えていきましょう。

【課題①】 多職種及び地域連携に関する演習ワークシート

※このシートを元にグループでの演習を行います

自己振り返りシート	受講番号	受講氏名
1. 関係機関との連携について ☐ できている ☐ できていない		
(1) できていると答えた人は、どのような機関と連携していますか？またその内容は？		
(2) できていないと答えた人は、連携の必要性は感じますか？またどのような機関と連携をしたいと思いますか？		
2. 相談支援専門員との連携について ☐ できている ☐ できていない		
(1) できていると答えた人は、相談支援専門員とどのような連携をしていますか？またその内容は？		
(2) できていないと答えた人は、相談支援専門員との連携の必要性は感じますか？またどのような連携をしたいと思いますか？		
3. 事業所が主催する担当者会議の開催又は相談支援専門員への依頼 ☐ できている ☐ できていない		
(利用者のニーズの定量化等により、他事業所や相談支援とともに計画の策定しを検討しているか)		
(1) できていると答えた人は、どのような人が参加していますか？またその内容は？		
(2) できていないと答えた人は、担当者会議は開催しないですか？誰を呼びたいですか？		
4. 自立支援協議会の出席 ☐ できている ☐ できていない		
(ご自身の出席がなくても自法人の管理監督者が参加している場合は間接的な参加となる)		
(1) できていると答えた人は、どのような人が参加していますか？(できるだけ具体的に)		
(2) できていないと答えた人は、地域の自立支援協議会で協議されている内容を知っていますか？		
5. 地域課題を自立支援協議会に報告したことはありますか？ ☐ ある ☐ ない		
(ご自身が直接報告していない場合でも自法人の管理監督者が報告している場合は間接的な報告となる)		
(1) あると答えた人は、どのような地域課題をどのような形で報告しその結果どうなったかを教えてください。		
(2) ないと答えた人も、地域課題を記入してください。例えば、グループワークが少ない、医療的ケアが必要な人の転入転出が少ない、学校の通学手段がないなど、地域課題と感ずることを何でも記入してください。		

23

演習ワークシートの見方

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

【課題①】 多職種及び地域連携に関する演習ワークシート

※このシートを元にグループでの演習を行います

自己振り返りシート	受講番号	受講氏名
1. 関係機関との連携について ☐ できている ☐ できていない		
(1) できていると答えた人は、どのような機関と連携していますか？またその内容は？		
(2) できていないと答えた人は、連携の必要性は感じますか？またどのような機関と連携をしたいと思いますか？		

まずは「連携」ですね。相談支援専門員以外の、他の関係機関との連携はしたことがありますか。個別支援の場面で考えてみましょう。

連携の必要性を感じた場合、どこと連携したかったか。何らかの理由で、連携できていない方は、何故できていないか言語化してみましょう。

24

演習ワークシートの見方

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

2. 相談支援専門員との連携について ☐できている ☐できていない

(1) できていると答えた人は、相談支援専門員とどのような連携をしていますか？またその内容は？

(2) できていないと答えた人は、相談支援専門員との連携の必要性は感じますか？またどのような連携をしたいですか？

相談支援専門員との連携は必須なので、連携の内容について言語化してください。個別支援の場面で考えてみましょう。

何らかの理由で、相談支援専門員との連携すらできていない方は、何故できていないか言語化してみましょう。

25

演習ワークシートの見方

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

3. 事業所が主催する担当者会議の開催又は相談支援専門員への依頼 ☐できている ☐できていない

(利用者のニーズの変化等により、他事業所や相談支援とともに計画の見直しを検討しているか)

(1) できていると答えた人は、どのような人が参加していますか？またその内容は？

(2) できていないと答えた人は、担当者会議は開催したいですか？誰を呼びたいですか？

サービス(支援)提供が開始されてからは、日々の様子を最も把握できるのはサービス(支援)提供事業所です。ニーズや状況の変化に気づいたとき、相談支援専門員と連携し、場合によってはサービス担当者会議を要請できていますか？

何らかの理由で、できていない場合は、開催したほうが良かった事例はありますか。その時誰を呼んで話したかったですか。何故できなかったか言語化してみましょう。

26

演習ワークシートの見方

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

4. 自立支援協議会の出席 ☐できている ☐できていない
(ご自身の出席がなくても自法人の管理者等が参加している場合は間接的な参加となる)
(1) できていると答えた人は、どのような参加をしていますか？(できるだけ具体的に)

(2) できていないと答えた人は、地域の自立支援協議会で協議されている内容を知っていますか？

ここからは、自立支援協議会に関するワークになります。事業所の関係者が参加している場合は「間接的に参加」していることになります。

何らかの理由で、できていない場合は、何故なのか言語化してみましょう。協議会の内容は市町村のHPに掲載されています。ご存知ですか。

27

演習ワークシートの見方

2022年度千葉県サビ児管実践研修テキストより

5. 地域課題を自立支援協議会に報告したことはありますか？ ☐ある ☐ない
(ご自身が直接報告していない場合でも自法人の管理者等が報告している場合は間接的な報告となる)
(1) あると答えた人は、どのような地域課題をどのような形で報告しその結果どうなったかを書いてください。

(2) ないと答えた人も、地域課題を記入してください。例えば、グループホームが少ない、医療的ケアが必要な人の短期入所先がない、学校の通学手段がないなど、地域課題と感ずることを何でも記入してください。

事業所の関係者が報告している場合は「間接的に報告」していることになります。

あなたが「これって地域の課題ではないかな」と思われるものにはどのようなものがありますか。

28

- ・各サービス(支援)事業所は、自らが地域の社会資源です。
- ・利用者のニーズに応じて、「できること」の枠を広げていき、事業所として成長することが、地域の社会資源を豊かにし、利用者の自己実現につながります。
- ・自分の事業所の殻を破れますか？



市町村
協議会
基幹相談支援センター
地域生活支援拠点
相談支援事業所
サービス(支援)事業所



一丸となって、
地域の障害児者
を支える！